

2024年度 社会福祉法人 めやす箱 就労部門 事業報告

(1) 概要

法人理念を基に2024年度は、「ニーズに応じたサービスの提供と質の向上」、「働きやすい環境づくり」「安定した事業運営」を部門目標に掲げ、部門職員一体となり事業運営に取り組んでいる。

(2) 数値的達成状況

・稼働率

2023年度93%、2024年度81%の結果となっている。5月より新規事業所のみが開設したことにより部門定員枠が160名から180名に増加し、全体的な稼働率が低下している。年度内新規利用者は29名。支援学校実習生は3年生5名、2年生15名、計20名の実習受け入れを行っており、今後の稼働率上昇に繋げていく。

・平均工賃

2023年度11,233円、2024年度13,658円の結果となっている。算出方法が変更となった為、全国的にも平均工賃が向上しており、就労部門全体で更なる底上げを図っていく必要がある。4事業所で報酬区分1段階上昇の結果となっており、2025年度以降も平均工賃向上に取り組んでいく。

(3) 目標に対する取り組み

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

- ・作業種、作業工程のニーズ調査を行い、個々の利用者に合わせた就労支援を実施している。作業種に関しては、新たな施設外就労先の開拓を進め、新規農家との契約に至っている。複数の農家を紹介していただいております。2025年度以降、更なる開拓を進めていく。作業工程に関しては、個別支援を強化した結果、多くの利用者が新たな作業工程に取り組むことができ、習得することで作業の効率化を図ることができている。個別支援計画作成段階で目標工賃額を確認しており、職員と利用者が互いに目指す工賃額を把握することで積極的な取り組み姿勢に繋がっている。
- ・「就労支援」をテーマに部門勉強会を実施。年度末には各事業所の取り組みを部門発表会として共有している。
- ・行事活動に関して、前年度から行事内容に関するニーズ調査を実施しており、一定の満足度向上が得られている。

②働きやすい環境づくり

- ・正規職員、准職員との面談を実施し、職員個々のキャリアビジョンの把握に努めている。

る。部門全体で職員の目指す方向性を共有し、ビジョンに合わせて育成計画を設定することで、エルダー業務の円滑化にも効果が得られている。

- ・2022年度から実施している職員向けの業務改善アンケートを6月、12月、計2回実施している。アンケート結果を基に、管理者との業務改善に関する個別面談の機会を設け、事業所の課題抽出、共有を図っている。
- ・2年続けて新規事業を展開した為、人事異動、新規人材採用、作業開拓に追われ、業務過多の状況が見られていたが、業務精査、業務削減を毎年検討項目として取り組み、業務改善に繋げることができている。業務改善アンケート結果からも満足度向上の結果が得られている。
- ・職員から他事業所の見学希望の意見があり、部門内交換研修の頻度を高めている。他事業所の取り組みを共有することで事業所の業務改善に繋げることができおり、参加職員からも継続希望が多く聞かれた為、次年度以降も取り組んでいく。

③安定した事業運営

経営戦略会議を新たに追加し、就労部門の課題抽出、具体的取り組みに繋げている。

- ・収入基盤の構築担当
企業からの受注作業が多く、景気に左右される為、安定性の高い作業開拓を進めている。2024年度は各事業所の現状把握を行い、発展性の洗い出しを行っている。農福連携強化を同時進行し、複数の農家との契約に至っている。
- ・キッチンカー担当
農福連携において、桃農家、ぶどう農家との契約に至っており、更なる発展を目指し、キッチンカーの導入検討に入っている。様々な催し物に参加させていただく機会があり、キッチンカーを導入することで、めやす箱をアピールする機会へと繋げていく。また、ご利用者の社会参加促進にも繋がる機会として期待しており、2025年度の導入に向けて準備を進めている。
- ・育成担当
育成の基盤となる「指導者」の育成能力向上を目指し、勉強会を企画、実施していく。2024年度は第一回部門エルダー勉強会を実施。アンケート結果から継続希望が多かった為、2025年度も実施予定。2025年度は部門エルダー勉強会3回、部門管理者勉強会6回の開催を予定している。
- ・専門性担当
就労支援の専門性を高め、利用者の能力向上に繋がるよう勉強会を実施していく。担当職員はめやすばこ・リーチに所属し、得られた情報を部門にフィードバックすることで支援に関する技術、知識を深めていく。2024年度は就労支援をテーマに勉強会を実施し、その後の取り組みを事業所研修発表会で報告している。
- ・特色担当
満足度調査でも毎年多くの意見をいただく行事に関して、より充実した企画が提供

できるよう、部門全体行事の立案、実施に繋げていく。3月には初の部門全体行事となる「就労部門合同お疲れ様会」を開催し、延べ83名の利用者が参加されている。参加者からは継続の意向を多くいただいた為、2025年度以降も様々な部門行事に取り組んでいく。2025年度は計4回の部門全体行事を開催予定。

・情報担当

情報・広報委員会が取り組まれたHPのリニューアル、SNSの開設に連動し、部門の情報を定期的に発信できるよう取り組んでいる。2024年度は、計4回部門通信を発行しており、SNS等も活用し行事の様子等を伝えている。2025年度は農福連携や自社製品等、サービスに関連した内容を発信し、集客や満足度向上に繋げていく。

・営業担当

安定した事業運営に繋がるよう、営業方法の見直しを行っている。広報誌発行時に相談支援事業所、支援学校に営業を行っており、部門9事業所の作業内容や空き状況を記載した情報一覧も同時に配布している。現在、相談支援事業所45か所、支援学校8校に営業活動しており、新規利用者、支援学校実習生の増加に一定の効果が得られている。

(4) 運営体制状況

- ・2024年5月1日に新規事業所「みのり（就労継続支援B型20名）」が開設し、9事業所の運営体制となっている。
- ・報酬改定により、就労継続支援A型の継続営業が困難と判断し、ワークスめやす箱のA型事業定員10名を2025年3月31日付けで廃止している。A型廃止に伴い、2025年4月1日よりワークスめやす箱の定員枠を就労継続支援B型10名から20名に拡大している。A型を利用されていた10名の利用者に関しては、法人内採用7名、就労継続支援B型2名、休職1名となっている。

(5) 年間活動内容

4月	部門会議
5月	部門会議 家族交流会
6月	部門会議 業務改善アンケート 就労部門通信 VOL.9 発行
7月	部門会議 部門勉強会「就労支援について」
8月	部門会議 経営戦略会議

9 月	部門会議 就労部門通信 VOL. 10 発行
10 月	部門会議
11 月	部門会議
12 月	部門会議 業務改善アンケート
1 月	部門会議 部門エルダー勉強会
2 月	部門会議 就労部門通信 VOL. 11 発行
3 月	部門会議 就労部門通信 VOL. 12 発行 事業所研修発表会 就労部門合同お疲れ様会

(4) 今後の課題

- ・事業展開に伴い稼働率が低下した為、営業強化を図っているが、目標としていた部門平均稼働率 87%には届いていない。新規利用者や支援学校実習生は増加している為、引き続き営業活動に取り組んでいく。
- ・9 事業所を継続的に維持していくために、稼働率の安定は必須であるが、現利用者が満足して長く利用していただけるよう、サービス内容を充実していく必要がある。経営戦略会議での取り組みを具現化し、満足度の向上や新規利用者の獲得に繋げていく。
- ・10 月に新設される就労選択支援事業に関しては全容が見えていない為、今後も情報収集を行いながら新規開設の有無を検討していく。
- ・育成の土台である「指導側」の成長を促し、安定した育成体制を整えていく必要がある。育成担当を主軸とし、管理層、エルダー職員の育成能力向上に注力していく。
- ・作業収入、平均工賃に関して、年々向上はしているが引き続き取り組んでいく必要がある。収入基盤担当を主軸に作業開拓を進め、安定した収入財源を確保できるよう取り組んでいく。特に農福連携に注力し、景気に左右されない収入基盤を整えていく。

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

昨年度同様年度始めにニーズ調査を実施し、取り組みたい作業や実施して欲しい行事活動について意見を集約しています。

作業においては、希望に応じて面談を実施し、各作業担当職員と連携し、作業機会の確保に努めています。作業種ごとに対象者及び支援方法について個別目標を設定し、計画的に作業支援に取り組んでいます。結果、作業効率や生産性が高まり、目標としていた平均工賃月額16,000円を達成し、報酬区分1段階引き上げ、目標工賃達成加算取得の結果に繋がっています。

行事活動においては、要望を元に年間行事活動計画を作成、ご利用者に配布し、計画的に実施しています。外出や買い物の頻度増やしたこと、果物狩りや部門内事業所との合同スポーツ大会、コロナ禍で中止していたバス旅行を再開するなど、ご利用者及びご家族からも満足の声を多数いただいています。又、ご家族を事業所参観に積極的に誘いし、行事の際はご利用者の写真を印刷・配布することで、様子を知らせて頂けるよう広報活動に取り組んでいます。

今後も、定期的に面談や調査を実施し、ご利用者及びご家族のニーズを抽出するとともに、事業運営に反映させ、満足度向上に繋げてまいります。

② 働きやすい環境づくり

昨年度同様年2回の業務改善アンケートを実施し、アンケート結果を元に個別面談を実施しています。上半期のアンケート結果では、職員のリーダーシップ、配置のローテーション、環境改善、職員間での情報共有が課題として挙がり、それぞれに役割、期間を定めて事業所全体で取り組みを行っています。

業務習得とフロアのローテーションについて年間計画を定め、ビジョンに対する共通認識を持つと共に、職員と意見交換を行う中で適宜計画を見直し、職員の声を反映させてきました。

環境改善においては、各フロア担当を定め、計画的に5Sチェックを行う中で、整理整頓や必要備品の購入など、ご利用者が安全快適に、職員が効率よく業務が行えるよう改善してまいりました。

今年度4名が新たに入職、配属となっており、ご利用者のスキルや特性を効率よく周知する為、作業支援及び生活支援に関するマニュアルを作成し、周知を図っています。支援内容の変更など変化があれば適宜更新し、フロアの職員配置が変更となっても、支援が途切れないよう周知を図っています。

今後も、働きやすい職場づくりに職員一丸となって取り組んでいけるよう、面談機会の確保、業務改善に取り組んでまいります。

③ 安定した事業運営について

新規ご利用者の獲得に向けて、支援学校や関係のある相談支援事業所等へ空き状況や広報誌の発送など営業活動に取り組んでいます。5月みよりの開設に伴い2名の方が異動、相談支援事業所より2名が新たに契約となり、年間平均稼働率は93.1%という結果でした。商品作りにおいて、新たにまきび支援学校での販売を開始し、営業活動に取り組んでいます。2024年度は1年生見学者1名、実習生0名という結果でした。

今後は、商品作り以外にも健康作りや生活習慣の改善といった事業所の特色を強化し、利用して頂いているご利用者の満足度を高めるとともに、特色として営業活動に取り組むことで、新規ご利用者の獲得に繋げてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員20名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	446	406	409	415	365	390	420	419	417	413	368	411	4879	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	21	21	24	25	23	22	20	22	267	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)		2	1	4
非常勤職員			1	2		3

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

- A勤：7：30～17：00 8時間（60分休憩）
- B勤：8：00～17：00 8時間（60分休憩）
- C勤：8：45～17：00 7.5時間（45分休憩）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事

4月	喫茶店ワンダタイムにて食事会。
5月	国分寺を散策。農マル園芸にて買い物学習。
6月	RSKバラ園を散策。カフェにて軽食を喫食。
7月	アミパラにてボウリング。
8月	事業所にて夏祭り。(焼きそば、フランクフルト、チョコバナナ、風鈴作り)
9月	くぼ観光農園にてブドウ狩り。直売所にて買い物学習。
10月	倉敷体育館にてセサミ合同事業所対抗ボッチャ大会。
11月	ライフパークにてプラネタリウム鑑賞。ほっかほっか亭お弁当を喫食。
12月	サンロード吉備路にて忘年会とカラオケ。
1月	鯉喰神社にて初詣。事業所にて福笑い作りとお汁粉を喫食。 矢部公民館にて職業体験(アクセサリー作り)
2月	四国水族館へバス旅行。
3月	水車の里フルーツピアにていちご狩り。カフェにて軽食の喫食と買い物学習。 就労部門合同おつかれさま会(べんがら染めワークショップ)

4. 施設整備

① 無し

事業の収支について			
収支内訳(資金内訳)		支出内訳(事業費内訳)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
自己資金		器具及備品取得支出	
計		計	

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

2024年度も「工賃向上」「行事の充実」が要望として挙げられました。工賃向上については、作業工程を細分化し作業チェック表を作成ながら、各ご利用者が取り組むことのできる工程を可視化しました。作業チェック表を基に新しい作業工程に挑戦する機会を設け、継続した支援を行うことで、作業スキルの習得や工賃、モチベーションの向上に繋がりを、2024年度の目標平均工賃11,000円を超えることができました。引き続き、個々のスキルアップに向けた支援を行い、仕事のやりがいや楽しさを感じながら、さらなる工賃の向上に繋がるよう、努めてまいります。行事については、買い物や調理、味覚狩りなど体験型の行事を中心に実施し、参加された皆様からは「楽しかった」「満足できた」等といった返答をいただきました。2025年度も就労や生活支援に繋がる満足度の高い行事を企画してまいります。

② 働きやすい環境づくり

職員に実施した業務改善アンケートの中で「情報共有」「支援や作業手順、仕上がり基準の統一」が課題として挙げられました。改善にあたり、ご利用者の支援方法や作業手順、仕上がり基準に関するマニュアルの作成から始めていきました。全職員が共通認識をもち、統一した支援を行うことで、ご利用者の情緒の安定や職員の業務効率の向上に繋げることができました。また、終礼や職員会議で情報共有や協議する機会を重視し確保することで、作業場や事務所内の整理整頓、日常業務の見直し、リスク回避に向けた環境改善ができ、職員やご利用者ともに働きやすい環境に繋げることができました。また、各職員が抱えている業務をホワイトボードに書き出し可視化を行うことで、職員間でフォローしながら日中での事務作業時間を確保できる体制ができています。引き続き、「共有」を事業所のテーマとして掲げながら、2025年度も働きやすい職場環境の推進に取り組んでいきます。

③ 安定した事業運営について

2024年度は、ステップアップや法人内の新規事業の開始などにより、事業所を異動された方がおられ年間を通じた平均稼働率は低下しました。しかしながら、新規ご利用者の獲得に向けた営業強化により、2024年度2名契約を結ぶことができました。現在契約しているご利用者に対して、休憩時間や面談を活用したコミュニケーションの機会を重視し、作業スキル向上に向けた支援を強化することで、ご利用者の精神的安定や作業意欲の向上に繋げることができました。2025年度も事業所の特色強化や支

援力向上を図り、選んでいただける事業所となるよう、事業所内外へと働きかけていきます。また、通所していただいているご利用者とのコミュニケーションを密に行っていきながら、ご利用者・ご家族の皆様安心して来所していただける事業所づくりに努めてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	458	423	392	402	361	367	399	359	376	340	310	342	4529	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	1	1	4
非常勤職員				4		4

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

A勤：8:30～17:00 8時間 (60分休憩)

B勤：9:30～16:15 6時間 (45分休憩)

C勤：8:45～17:00 7.5時間 (45分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見 (雨天中止)、お楽しみ弁当
5月	買い物行事 (イオン倉敷)
6月	実施なし
7月	カラオケ (サンフラワー)、ボウリング (アミパラ)
8月	夏祭り：調理 (焼きそば、チョコバナナなど)、ペットボトルボウリング
9月	いっばいっばいと合同行事 (ぼっちゃ大会)
10月	ピザ作り (フルーツトピア)

11月	お楽しみ弁当
12月	クリスマス会：事業所内でカラオケ、スノードーム作り
1月	初詣、書初め
2月	お楽しみ弁当
3月	いちご狩り（農マル園芸）

4. 施設整備

① PC購入 2024年12月19日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	290,400	器具及備品取得支出	290,400
計	290,400	計	290,400

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

2024年度も工賃向上、行事の充実といったニーズが多数挙げられました。行事については、ご利用者・ご家族に対し聞き取りを行い、年間通して要望のあがった行事を実施し、参加された皆様からは「楽しかった」「満足できた」等といった返答をいただきました。2025年度も就労支援に繋がる満足度の高い行事を企画してまいります。工賃向上については、作業チェック表を作成・活用し、携わっていない作業や工程に挑戦する機会を設けました。携わる作業が増えることにより、工賃向上とともにモチベーション向上にも繋がり、2024年度も前年度平均工賃を上回ることができました。引き続き、作業の細分化とともに、一人ひとりの強みと作業種・作業工程とのマッチングを行いながら、安定した工賃が得られるよう努めてまいります。

また、職員の知識・支援力向上のための勉強会の実施やアセスメントの強化を図り、質の高いサービスの追求をしてまいります。

② 働きやすい環境づくり

2024年度は職歴や実務経験の差がある職員配置だったこともあり、上半期に実施したアンケートでは情報共有・連携不足や業務の偏りが課題として挙げられました。改善にあたり、まずは経験の長い職員から経験の浅い職員に指導する事から始めていきました。全員が同じ認識をもてるよう一日の振り返り時間での情報共有や会議の場での意見交換の時間を重視し確保することで、情報の偏りや漏れのない仕組み作りに努めました。業務負担については、一人ひとりの業務やできること・できないことを可視化し、職員全員ができる項目を増やしていくことで、偏っていた業務が減り、職責に合った業務分担及び全職員の業務過多解消となりました。下半期には、連携不足は解消し、業務効率化や業務精査の着手へと進み、業務の簡素化も推進できました。また、職員の強みを活かした職務担当とすることで、最大限に能力を発揮できる場を設け、職務へのモチベーション向上を図ることもできました。引き続き、職員との面談を定期的に行い、一人ひとりのワークライフバランスを確認しながら、2025年度も働きやすい職場環境の推進に取り組んでいきます。

③ 安定した事業運営について

2024年度は、ご利用者の入所や重度化による退所者がいらっしやったこともあり、年間を通した平均稼働率は低下いたしました。しかしながら、ご利用者の減少に伴い現在契約しているご利用者に対し

て支援ツールの作成・活用、作業工程の見直しを推進することで、工賃の安定支給やご利用者の精神的安定に繋げることができました。また、2024年度は新規ご利用者の獲得には至りませんでした。営業活動の強化により見学者は増加となりました。事業所のさらなる特色強化や支援力向上を図り、選んでいただける事業所となるよう引き続き、事業所内外へと働きかけていきます。また、通所していただいているご利用者との定期的な面談や欠席時等の連絡を密に行っていきながら、ご利用者・ご家族の皆様様に安心して来所していただける事業所づくりに努めてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	441	427	426	456	354	414	444	403	414	398	353	412	4942	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	1	1	4
非常勤職員				4		4

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

A勤：7:30～17:00 8時間 (60分休憩)

B勤：8:00～17:00 8時間 (60分休憩)

C勤：9:30～15:30 6時間 (休憩なし)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見：砂川公園散策
5月	お楽しみ弁当
6月	買い物活動：マルナカにて100円均一・本屋・薬局・お菓子の4班に分かれて実施
7月	製作：ポーセラーツ
8月	夏祭り：つかみ取り・ワニワニパニック・ボール飛ばしのブース設置

9月	カラオケ：事業所内で実施
10月	国分寺散策
11月	池田動物園散策
12月	クリスマス会：かなでと合同行事、昼食はお楽しみ弁当
1月	カラオケ：事業所外で実施
2月	ライフパーク科学展示室見学
3月	お楽しみ弁当：余暇時間に事業所内カラオケ実施

4. 施設整備

① PC購入 2024年10月29日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	281,600	器具及備品取得支出	281,600
計	281,600	計	281,600

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

サービス満足度調査に挙げた意見要望として、工賃向上や行事の充実が部門や事業所の課題と捉え、職員間で話し合い具体的な改善まで行いました。工賃向上に関して、就労継続支援A型では外注作業を中心に、B型では内職作業を中心に挑戦してみたい作業内容や工程の聞き取りを行い、様々な作業に挑戦していただく機会を作りました。様々な作業に挑戦していただくことで、モチベーションの向上、工賃額の向上に繋がり、B型の前年度平均工賃を上回ることができました。行事の充実では、毎月1回以上の行事を企画、実施し参加された皆様からは「楽しかった」「満足できた」等と返答をいただきました。2025年度も就労支援に繋がる満足度の高い行事を企画してまいります。

② 働きやすい環境づくり

職員の異動もあり、上半期に実施したアンケートでは情報共有・連携不足が課題として挙がりました。チームワークの向上や課題解決を目指し、毎月職員会議にて業務改善案を職員から募り、改善策を検討する時間を設ける等、働きやすい環境作りに取り組みました。年度末に実施したアンケートでは、チームワークの向上により以前より働きやすくなったと多くの意見が挙がりました。情報共有に関しての課題は残りましたが、次年度から就労継続支援B型事業に一本化となり、活動時間のずれもなくなるため、職員朝礼を行う等、連携強化の取り組みを行い働きやすい職場環境の推進に取り組んでいきます。

③ 安定した事業運営について

就労継続支援A型では、月平均84.5%程度の稼働率となりました。令和6年度の報酬改定により、A型の基本報酬単価が大幅に低下する事となりました。これまで、事業を継続するための議論を行ってまいりましたが、継続していくことは困難であると判断し、令和7年3月31日付けで就労継続支援A型事業を廃止することとなりました。ご利用者、ご家族には令和6年6月より順次説明を行い、意向に沿った移行先の検討、調整を行っています。最終的な移行先としては、法人雇用7名、ワークスめやす箱就労継続支援B型2名、休職希望1名となっております。

B型では、月平均82.6%程度の稼働率となりました。年間で新規ご利用者3名、退所者3名となっており、退所者の内訳は法人内新規事業所への異動1名、一般就職者1名、県外への転居1名となっております。2025年度は、事業所のさらなる特色強化や支援力向上を図り、選んでいただける事業所と

なるよう引き続き、事業所内外へと働きかけていきます。また、通所していただいているご利用者との定期的な面談や欠席時等の連絡を密に行っていきながら、ご利用者・ご家族の皆様安心して来所していただける事業所づくりに努めてまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援A型 実人数 (月：定員10名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	208	194	197	215	151	169	207	192	171	171	167	168	2210	

就労継続支援B型 実人数 (月：定員10名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	165	166	164	183	164	175	180	181	175	196	185	220	2154	

(2) 利用(開所)状況

就労継続支援A型 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	A勤 9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
	B勤 10:30														
終了時間	A勤 16:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
	B勤 17:30														

就労継続支援B型 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位:名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1 ※1	1	2 ※1	2		5
非常勤職員			2 ※2		2 ※2	3

※1 管理者、職業指導員兼務

※2 職業指導員、目標工賃達成指導員兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

A勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)

B勤: 8:30~17:30 8時間 (60分休憩)

C勤: 9:00~15:45 6時間 (45分休憩)

D勤: 9:30~16:15 6時間 (45分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見: 砂川公園散策
5月	買い物活動: マルナカにて3班に分かれて買い物、昼食はフードコートにて喫食
6月	渋川マリン水族館観賞
7月	親睦会: すたみな太郎にて外食
8月	くらしき金魚ミュージアム観賞
9月	秋祭り: 事業所内にて手作りゲーム、調理活動を実施
10月	買い物活動: アリオ倉敷にて3班に分かれて買い物、昼食はフードコートにて喫食
11月	お楽しみ弁当: ほっともっとのお弁当を注文し、事業所にて喫食
12月	クリスマス会: くらイフに依頼してクリスマスリースのワークショップ実施
1月	新年会: すたみな太郎にて外食
2月	買い物活動: 日本一のだがし売り場にて買い物、昼食は定食屋にて喫食
3月	就労部門合同おつかれさま会: ワークショップの実施、おやつの喫食

4. 施設整備

① 公用車購入 2024年6月4日

事業の収支について			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	1,560,000	器具及備品取得支出	1,560,000
計	1,560,000	計	1,560,000

② PC購入 2025年3月17日

事業の収支について			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)

自己資金	168,300	器具及備品取得支出	168,300
計	168,300	計	168,300

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

2023年度の満足度調査で「施設外就労に行きたい」と複数の要望があったため、事業所の特性やご利用者のスキルにマッチングする施設外就労を検討致しました。結果、桃を栽培している農家3名の方と契約し袋掛けや枝拾い等、1年を通して様々な作業に挑戦出来る施設外就労に取り組み満足度の向上に繋げて参りました。また、施設内作業ではこれまで挑戦することが少なかった工程や別作業に様々なご利用者が携われるよう、アセスメントの取り直しや工程細分化の検討等を行い以前よりもご利用者が様々な作業、工程に携わることが出来る環境となりました。他にも2023年度同様行事の充実に力を入れ、外出や夏祭り等の季節を感じる催し物、くら이프との合同行事（クリスマス会）を実施して参りました。都度ご利用者からは「楽しかった」等の意見が聞かれた他、ご家族から「(本人が)通所を楽しみにしている」といった感想を多く寄せていただきました。

アセスメントの取り直しや作業方法を伝える力、事業所職員の支援力向上は今後も必須項目となっております。2025年度も外部研修や情報共有シートの活用等、職員が研鑽出来る機会を利用し支援力の底上げが出来るよう努めて参ります。

② 働きやすい環境づくり

職員との定期面談だけでなく普段からのコミュニケーション、各職員の抱えている業務量の把握等をこまめに行って参りました。その結果、2024年度の業務改善アンケートでは「働きづらい」といった意見は挙がってきませんでした。現場で主となって勤めていた職員が異動となり様々なリスクが考えられたため、常に全体に向け注意喚起を行って参りました。また、管理者のみの発信ではなくスタッフリーダーと常に考え方を共有し、スタッフリーダーからも発信が出来る体制を整えました。送迎や納品、施設外就労、調理訓練等をローテーション制に変更、全体で現場業務を遂行出来る流れへと整えたことも働きやすさの向上に向けた取り組みとなりました。

③ 安定した事業運営について

2024年度5月みのりの新規開設に伴い、就労センターかなでに所属するご利用者5名が異動しています。2024年度中、4名のご利用者と新規契約を結びましたが目標とする平均稼働率を達成出来ておりません。2025年4月より支援学校卒業生が利用開始となるため、更なる稼働率の向上が見込まれますが依然として目標平均稼働率に届かないため、引き続き新規ご利用者の獲得を目指し尽力して参ります。

す。年間平均工賃は、1万円以上を達成しており報酬単価が2025年度から向上しております。今後も年間平均工賃の維持、向上が出来るよう努めて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員20名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	393	303	301	338	287	302	338	307	317	305	315	323	3829	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※1)	1(※1)		3		4
非常勤職員			1	2(※2)	2(※2)	4

※1 管理者、サービス管理責任者兼務

※2 非常勤職員1名、生活支援員、目標工賃達成指導員兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

A勤：8:30～17:00 7.5時間 (60分休憩)

B勤：8:00～17:00 8時間 (60分休憩)

C勤：9:45～15:30 5.5時間 (15分休憩)

D勤：9:30～15:45 6時間 (15分休憩)

E勤：8:30～15:30 6時間 (60分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	お花見、歓送迎会
5月	お楽しみ弁当
6月	ミニ運動会：研修棟
7月	カラオケ：まねきねこ
8月	夏祭り：かなで建物内
9月	お楽しみ弁当

10月	茶話会
11月	外食：チャレンジド
12月	クリスマス会：くらイフと合同行事、昼食はお楽しみ弁当
1月	初詣、絵馬作成
2月	お楽しみ弁当
3月	外出：おもちゃ王国

4. 施設整備

① PC購入(2台) 2024年10月29日

事業の収支について			
収支内訳(資金内訳)		支出内訳(事業費内訳)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
自己資金	292,600	器具及備品取得支出	292,600
計	292,600	計	292,600

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

2023年度は内職作業（バリ取り）の受注量が大幅に減少、年間平均工賃額が前年度と比較し、2,000円程度低下しました。その為、2024年度は内職作業の受注量安定と作業工程の増加を図るとともに、施設外就労（公園の除草作業、アパート駐車場の清掃・除草作業）の新規契約を進め、安定した収入を得られるように努めました。その結果、年間平均工賃は16,395円と大幅に増加することができ、ご利用者からも喜びの声を頂いています。

行事活動では、少人数で外出する「グループ別外出」を実施しました。事前に行先や活動内容についてアンケートを実施し、要望に沿った外出活動が提供できるよう企画・運営をして参りました。今年度は、買い物・外食やボウリング、いちご狩りに出かけ、参加された利用者からは次年度以降も継続して欲しい旨のお言葉を多くいただいています。2025年度は、作業工賃を安定させ、行事活動を充実させることで、利用者満足度の向上に繋げていけるよう努めて参ります。

② 働きやすい環境づくり

職員を対象に6月、12月に業務改善アンケートを実施しました。アンケートで挙げた意見を基に個別面談を行い、改善策を立て実行しました。意見として多く挙げたのが、職員間の人間関係に関する項目が多く、個別面談を重ね職員の意見や困り感を共有し、改善に向けて取り組んで参りました。少しずつではありますが、職員同士の結束力が強まり、チームとして成長できた1年となりました。

人材育成について、管理者とサービス管理責任者間で、チーム・個人としての課題を把握し、育成の進捗状況について情報を共有しています。個人に合わせた育成ツールや指導方法を模索していく中で、育成を行う職員の知識や技術も十分とは言えないことが課題として挙がりました。今後は、育成・指導を行う職員の育成力向上に繋がられるよう、外部研修の参加や自己研鑽を進めていきます。

③ 安定した事業運営について

2024年度は、利用者1名が新規事業所みのに異動、利用者1名が入院、退院の目途が立たず退所となっています。見学者や体験利用の対応を行いました。新規利用者の獲得には繋がらず、稼働率が低下している状況です。2025年度も引き続き、相談支援事業所や支援学校など、各関係機関とも連携・情報共有を密に図り、新規利用者の受け入れを積極的に行っていきます。

1月	初詣：熊野神社、避難訓練（不審者）
2月	いちご狩り：農マル園芸
3月	茶話会

4. 施設整備

① 駐車場砕石敷き 2024年9月30日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	866,800	器具及備品取得支出	866,800
計	866,800	計	866,800

② PC購入 2025年3月26日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	110,000	器具及備品取得支出	110,000
計	110,000	計	110,000

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

2023年度の満足度調査では、「同じ作業が続くと飽きる」との意見が挙がっており、午前と午後の作業内容を変えたり、作業内容を細分化したりしながら対応してきました。さらに、ご利用者に作業内容を説明した上で、「やりたい作業」「興味のある作業」「やりたくない作業」について聞き取りを行い、ご利用者のニーズを把握するとともに、新たな作業に取り組んでいただきました。今年度は職員の増員に伴い、利用者支援を強化しました。新しい作業が定着するまで一対一で支援し、仕上がりの確認を個別で丁寧に振り返りを行うことで、作業スキル向上にもつながりました。また、新しい作業に取り組むことで作業への楽しさを感じられたり、仕上がりを褒められることで作業意欲につながったりしていると感じます。受注先からも「作業が丁寧」「仕上がりがきれい」との言葉をいただき、利用者に伝えることで、さらなる意欲向上につながっています。昨年度の工賃額 12,908 円を上回り、2024年度は 15,116 円でした。「工賃が上がって嬉しい」との利用者の声は多く、満足度や作業意欲が向上していることが伺えます。内職は受注量の変動があり、安定した収入が確保できるとは限りませんが、今後も先方との関係性を大切にし、利用者の作業意欲を上げられるよう支援を行って参ります。

② 働きやすい環境づくり

事業所が楽しく、働きやすい環境へと成長できるよう、職員を対象に業務改善についてのアンケートを年に2回実施し、現場職員の意見を吸い上げ、環境改善を行いました。6月のアンケートでは、「職員同士の報連相がうまく回れず、支援方法にずれがある」との意見が多く、働きにくさを抱えている職員が見られました。そのため、職員同士のコミュニケーションと報連相の強化に向けて取り組んできました。終礼時に職員同士が意見交換できる時間を確保しました。また、職員がどのような気持ちで日々の業務を行っているのかを知るため、アンケートを定期的に変更しました。その結果、年度末のアンケートでは、全職員が「働きやすくなった」「連携が回れている」「職員の笑顔が増えた」との返答をしています。職員同士のコミュニケーションを充実させることで、連携力が上がり、協力体制が強化されています。「利用者の支援が楽しい」「もっと利用者支援に力を入れたい」との意見が職員から多く聞かれており、ご利用者が安心して作業ができる環境を整えたいと願う職員が育っています。

今後も意見交換できる時間を大切にし、働きやすい職場づくりに努めて参ります。

③ 安定した事業運営

2023年度から引き続き関係機関に営業を行いながら、毎月行事の実施や半日送迎を行い稼働率につながるように努めましたが、年間平均の稼働率が74.2%となっており、目標とする稼働率90%には大きく届きませんでした。要因として、ご利用者の3分の2が50代後半～70代であり、体力低下により週の中休みを希望される方が増え、加えて通院や入院等で定期的な休みが増えたことが挙げられます。営業の成果もあり、2023年度に比べ見学者が1.5倍増加しています。しかし、見学後の利用にはつながらないケースが多く、選ばれなかった理由の解明と改善が急務と考えます。相談員からの声を聞き、選ばれる事業所作りに努めて参ります。2025年度も契約者の安定した利用を図ることと、新規利用者の積極的確保を行い、稼働率の安定を図って参ります。

今年度の新規利用者は2名ともに身体障がいの方です。リハビリ機関に協力を仰ぎ、実際に職員がリハビリの様子を見学させていただくことで、身体障がいの方の受け入れに対して苦手意識が薄れ、支援体制が整ってきています。知的障がいの方が多く利用されていますが、今後は身体障がいや精神障がいの方の受け入れを強化し、職員の知識や技術を深め、安心して利用していただける体制を整えて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員20名) (単位:名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	369	340	317	336	290	300	344	332	334	307	301	306	3876	

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位:名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	2	1	5
非常勤職員				3		3

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

- A勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)
- B勤: 7:45~16:45 8時間 (60分休憩)
- C勤: 8:30~16:30 7時間 (60分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	外出活動(散策)
5月	誕生日会(4.5.6月生まれ)・避難訓練(水害)
6月	外出活動(ボーリング)
7月	室内レクリエーション(七夕)
8月	誕生日会(7.8.9月生まれ)
9月	室内レクリエーション(ミニ運動会)・避難訓練(震災)
10月	外食活動(すたみな太郎)
11月	誕生日会(10.11.12月)
12月	室内レクリエーション(DVD観賞会)
1月	外出行事(初詣)・避難訓練(不審者)
2月	室内レクリエーション(福笑い)、誕生日会(1.2.3月生まれ)
3月	外出行事(花見)

4. 施設整備

① トイレ増設 2024年11月27日

事業の収支について			
収支内訳(資金内訳)		支出内訳(事業費内訳)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
自己資金	1,067,000	器具及び備品取得支出	1,067,000
計	1,067,000	計	1,067,000

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

2024年度は、内職作業の受注量と作業種の拡大、新規作業の開拓を進め、作業収入の維持・向上に努めました。その結果、2023年度平均工賃6,330円から、2024年平均工賃10,455円まで向上させることができました。利用者からも喜びの声をいただいておりますが、2024年度サービス満足度調査の「作業工賃について満足していますか？」という質問項目に対して、「はい」と返答いただいたのが、全体の3割以下となりました。この結果を真摯に受け止め、利用者満足度の向上に繋げられるように、受注量の安定と新規作業の開拓を進め、更なる工賃向上を目指します。

行事活動では、利用者から要望の挙がっていた少人数での外出（グループ別外出）を企画し、買い物やカラオケ、福田公園の体育館を借りて運動会を実施しました。グループ別外出については、利用者からも好評で、2025年度は外出先や活動内容のアンケートを実施し、より要望に沿った活動が提供できるように企画して参ります。また、季節行事のクリスマス会では、地域ボランティアの方々にお越しいただき、クリスマスに因んだ楽曲をアコーディオンで演奏いただきました。今後も、行事活動の充実を図り、楽しみを持って通所していただけるよう、取り組みを継続して参ります。

② 働きやすい環境づくり

2024年度は、新卒採用の職員が入職しましたが、メンタルの不調により残念ながら退職という決断をされました。背景として、特定の利用者に対して、情緒が不安定な時の支援の統一化が図れておらず、支援方法が不明確なまま対応を任せてしまったことが挙げられます。また、他職員に面談を行ったところ、職員間の連携において課題があるという意見が多く、「意見が言いにくい」というネガティブな雰囲気があったことが判明しました。この結果を受け、支援方法の見直しと統一化ができるよう職員会議で協議し、サービス担当者会議での情報共有を進めて参りました。また、定期的に職員面談を行い、支援や人間関係における困り感を共有、「意見が言いやすい職場」を目指し、環境改善に努めて参りました。今後も職員一人ひとりの意見に耳を傾け、チームが一丸となってより質の高い支援が提供できるよう精進して参ります。

③ 安定した事業運営について

2024年度は、新規利用者を3名受け入れ、4名が退所しました。退所理由として、1名は就労継続支援A型事業所への移行、2名は家庭の事情により退所、1名は支援に対して不満があり退所となりました。

た。職員の支援方法や利用者接遇について振り返りを行い、サービスの質の向上を図るとともに、安心して通所していただけるような事業所づくりができるよう尽力します。

2024年度は支援学校実習生を5名（2年生4名、3年生1名）受け入れ、1名が卒業後の進路先としてつむぎを選んでいただいております。今後も積極的に実習生の受け入れを行い、支援学校教員とご家族とも情報共有を密に行っていくことで、進路先候補の選択肢としていただけるよう努めて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数（月：定員20名）（単位：名）

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	342	359	332	380	317	329	371	364	355	316	292	327	4084	

(2) 利用（開所）状況（単位：日）

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	22	22	23	20	21	23	22	22	22	20	22	261	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況（2025年3月31日現在）（単位：名）

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1	1	1	1	5
非常勤職員				3		3

※コンパス管理者を兼務

(4) 職員の勤務体制（2025年3月31日現在）

A勤：7：45～16：45 8時間（60分休憩）

B勤：8：00～17：00 8時間（60分休憩）

C勤：9：45～16：00 6時間（15分休憩）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	花見：深山公園
5月	避難訓練（火災）
6月	グループ別外出：買い物・外食
7月	避難訓練（水害）
8月	夏祭り：ミニゴルフ・魚釣りゲーム・かき氷
9月	運動会：福田公園体育館

10月	避難訓練（震災）
11月	カラオケ外出：ハニービー水島店
12月	クリスマス会：地域ボランティアの方によるアコーディオン演奏
1月	初詣：福田神社 避難訓練（不審者）
2月	茶話会
3月	

4. 施設整備

① 無し

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金		器具及備品取得支出	
計		計	

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上について

2024年度は5月より事業所が開設され、ご利用者、ご家族からは契約の際より十分にニーズの把握を行っています。その中で工賃向上、行事の充実といった要望が挙げられました。工賃向上については、企業から委託された施設内作業に加え、施設外就労として農作業の受注や自社製品の製作・販売といった特色ある作業の実施を行いました。ご利用者の作業能力の向上、受注可能な作業を拡大させることで、目標としていた工賃額を実現することが出来ました。2025年度におきましても、ご利用者の強みや要望とのマッチングを行いながら、安定した工賃が得られるよう努めてまいります。行事の充実について、ご利用者からのニーズとして挙げた行事を定期的実施しています。ご利用者の皆様からは「満足できた」、「楽しかった」という返答をいただきました。2025年度もご利用者のニーズの抽出を図り、満足度向上に繋がる行事を企画してまいります。

また、職員の知識・支援力向上のための勉強会の実施やアセスメントの強化を図り、質の高いサービスの追求をしてまいります。

② 働きやすい環境づくり

新規事業の立ち上げの年であり、職員も初めて業務を共にする間柄もいる中であったため、職員の連携強化を重点的に行いました。また、業務改善アンケートおよび面談を実施し、各職員のキャリアビジョンや働く上での課題抽出を行っています。課題として業務の偏りや計画性が挙がりました。業務時間内での業務精査や役割を明確化することで、就業時間内での業務完結や休憩時間の確保、送迎業務の負担を均等にする事で各職員が余裕をもって業務に当たることが出来るようになりました。下半期においては特色のある新たな作業にも着手し、その中で各職員の強みを活かした業務を担当することで、業務へのモチベーションの向上や、今後の発展のための基盤作りを行うことが出来ました。2025年度においても、職員との面談を定期的に行い、ワークライフバランスを確認しながら、働きやすい職場環境の推進に取り組んでまいります。

③ 安定した事業運営について

2024年度の年間平均稼働率としては57.6%となっています。開設月である5月は41.6%であったため、平均稼働率の増加は実現出来ています。積極的な営業活動やPRを行っていくことで月数件の見学者・体験利用者が来られ、3月末までに新規のご利用者9名の方が契約をしていただいています。一方

で数名のご利用者においては様々な理由から退所をされた方もいらっしゃいました。ご利用者の皆様が安心して通所をすることが出来る環境整備や活動内容、支援の見直しを推進することで、安定したご利用に繋がるよう事業所一丸となって取り組んでいきます。また、事業所の更なる特色強化や支援力の向上を図り、魅力的な事業所となるよう引き続き、事業所内外へ発信をしていきます。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

	2024年										2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	0	183	267	253	224	264	281	273	262	243	221	272	2743	

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

		2024年										2025年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	0	22	22	23	20	21	23	23	22	22	20	22	240	
終了時間	15:00														

(3) 職員の状況 (2025年3月31日現在) (単位：名)

区分	管理者	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃達成指導員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)		2	1	4
非常勤職員			1			1

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2025年3月31日現在)

A勤：7:00～16:00 8時間 (60分休憩)

B勤：8:00～17:00 8時間 (60分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
5月	開所式：事業所内で実施
6月	カラオケ：事業所内で実施
7月	製作(ベンガラ染め)：事業所内で実施
8月	ボウリング大会：アミパラボウルにて実施、昼食はセレクト弁当
9月	お月見会：事業所内で実施
10月	工場見学：ふなおワイナリーにて実施
11月	買い物・販売体験：アリオ倉敷にて実施

12月	クリスマス会：事業所内で実施
1月	みかん狩り：船穂町のみかん畑にて実施
2月	節分：事業所内で実施
3月	ひな祭り：事業所内で実施

4. 施設整備

① 駐車場舗装工事 2024年7月24日

事業の収支について			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	128,150	修繕費支出	128,150
計	128,150	計	128,150